

## 1. はじめに

『ブロック解除ワーク』に興味を持っていただきありがとうございます^^  
この資料は、「私もブロック解除ワークを広めていきたい!」という人に向けたものです。

『ブロック解除ワークを広める人』(以下、『リーダー』)に向けて、大事なエッセンスを厳選して盛り込みましたので、ぜひ何度も繰り返し読んで、腑に落としてくださいね!

## 2. 『ブロック解除ワークを提供する側』に求められること

リーダーに求められる主な役割は、

- ・『クライアントが自分で見抜けないブロックの発見』を手伝うこと
- ・『クライアントが一人で向き合えないブロックへの対峙』を手伝うこと
- ・『ブロックが外れたかどうかのチェック』を手伝うこと
- ・『ブロック解除の機会(場所や口実、情報、仲間など)]を提供すること
- ・『テキストに記載されていないワークのやり方』を指導すること

です。

『ブロック解除ワーク』自体に関しての、細かな知識やワークのやり方は、(過去生救出ワークを除いて)テキストに書いてありますので、必ずしもそれらに詳しくなる必要はありません。

リーダーに求められるのは、ブロック解除に関する枝葉の知識よりも、むしろ、

- 『自分自身のブロックをしっかりと外しておくこと』  
(自分がブロックを抱えていると、相手が同じ分野のブロックを持っている場合に見抜けない)
- 『チャネリング能力』  
(過去生救出ワークのサポートや、ハイヤーセルフの説得のために必要な能力)
- 『洞察力』  
(相手がブロックを持っているかどうかや、ブロックが外れたかどうかの判断に必要な能力)

です!

なお、ブロック解除ワークを求めてやってくる人の中には、

- 『お金のブロック』(仕事関係)
- 『人間関係のブロック』(親子関係、恋愛関係)
- 『性のブロック』

を抱えている人が多々いますから、  
これらの分野に関しては、特に重点的にブロックを外しておくといいでしょう。

### 3. 三大落とし穴

ブロック解除を行う上で、クライアント／セラピスト問わず陥りやすい『定番の落とし穴』があります。特に以下の3つに関しては、慎重に慎重を重ね、**自分がブレていないか定期的に見直す**ようにしましょう。

- 「ブロックを敵視」しない！

テキストにも書いてある通り、「**ブロックは、敵ではなく、味方**」です。  
この前提を履き違えると、様々なワークの効果が半減してしまいます。

クライアントは十中八九、ブロックを敵視していますから（例えば「このお金のブロックさえ無くなれば」等）、リーダーは、クライアントの代わりに、ヘドロの奥にある『光』（ブロックを創り出している源泉）を見つけ、そこに目を向けさせてあげること（＝「ブロックは味方である」ということを理解させてあげること）です。

- 「自分にはもうブロックは無い」と思い込まない！

「私にはもうブロックはありません」という思い込みは、「**ブロックの自己防御機能**」の典型的な手口です。  
このセリフを平然と言うようなブロック解除ワーカーの言葉は、絶対に信用してはいけません！！

今のこの時代、ブロックが全部無くなったら、物質世界では生きてはいけません。  
生きている以上、常に必ずブロックと共に在るのです。

**ブロックが無いように感じるのであれば、それはブロックが存在しないのではなく、単に、深いところにあるブロックの存在を見抜けないだけ。**

もし自分の口からこの言葉が出るようだったら、「ブロックの自己防御機能にやり込められている」ということを自覚しましょう。

- ブロック解除を「高次の存在任せ」「スピリチュアルな能力任せ」「潜在意識任せ」にしない！

『ハイヤーセルフやガイドへの依頼』、『エネルギーワーク』、『エネルギーグッズ』、いずれの手段においても、  
「これで全てのブロックは外れました」というやり方は、機能しません。

ハイヤーセルフにとっては、「ブロックというのは、楽しみの一環であり、手放したくないもの」なのですから、残念ながら、**こと、ブロック解除ワークにおいては、ハイヤーセルフは必ずしも協力的では無い**のです。

仮に、高次の存在から、「ブロックを全部外しておいたよー」などと回答をもらっても、それは「（ハイヤーレベルで外しても惜しくないものは）全部外しておいた」という意味であって、人間の顕在意識が求めるレベルとは程遠いものです。

ですから、『ブロックが外れたかどうかのチェック法』も含めて、ハイヤーセルフや潜在意識に頼る以外の様々な手段を身に付けておくことが必要です。

## 4. 『ブロックの存在チェック』と『ブロックの炙り出し』について

リーダーには、

- 「クライアントが抱えているブロックの炙り出し」
- 「クライアントが本当にそのブロックを持っているかどうかのチェック」
- 「ブロックが外れたかどうかのチェック」

という役割が求められますが、  
そのための方法としては、

- 『感情の揺さぶり』
- 『ビジョンによるブロック視』
- 『キネシオロジー』
- 『エネルギー反響チェック』

などが効果的です。

なお、全ての方法に共通していえることですが、「ブロックは層構造になっている」ため、今回外したブロックの奥に、さらに同じブロックが根深く形を変えて存在していることも有り得ます。

ですから、例えこれらのチェックで反応が出なくなっても、それはあくまでも『現時点で外せるブロック』『今回フォーカスしたブロック』での話。

誤解を避けるため、クライアントに対しては、「これで**全部**ブロックは外れました」という表現は使わない方が**無難**でしょう。

### 4.1. 感情の揺さぶり

- 「お金のブロックがある人に、お金の話（参加費やロイヤリティの話）をする」
- 「性のブロックがある人に、セクシャルな話題を振る」
- 「それまで相手が逸らそうとした話題に、あえて目を向けてもらう」

などにより、『感情が揺さぶられるかどうか』で、ブロックの有無を確認することが出来ます。

この炙り出しを行っても、感情が揺れない（耐えられるのではなく、揺れない）というのであれば、ひとまずそのブロックは外れたと判断して良いでしょう。

ただし、この『炙り出し』を行うことで、相手のブロックが反応し、リーダーの側に怒りを向けられることもありますので、予めその旨をクライアントに伝えたりしておくことが望ましいでしょう。

また、「感情コントロールが出来ないクライアント」に対して炙り出しを行う際には、一気に揺さぶるのではなく、クライアントが受け入れられる分だけ、徐々に炙り出していくということが必要です。

## 4.2. ビジョンによるブロック視

視覚タイプの方は、『相手をエネルギー的に観る（エネルギー体を透かすように見る）』ことで、ブロックを、

- 陰って見える
- 黒く見える
- 淀んでいるように見える

といった形で『認識』することが出来ます。

これらの箇所において、チャネリングのスキルを用いて「この箇所がこう見える原因は何ですか？」と問いかけていくことで、ブロックの原因を掘り下げていくことが出来ます。

## 4.3. キネシオロジー

クライアントに『ブロックに関する情景（お金に困ったシーンや、ケンカのシーン、口癖を言っている状況）』を思い浮かべてもらいつつ、腕を押し下げることによって、ブロックの有無を探ることが出来ます。



ブロックがあると、押し下げに抵抗できない

なお、キネシオロジーチェックは、あくまでも「チェックのための手法」であり、力比べではありません。また、『ブロッキング』や『スイッチング』（キネシオロジーの反応が上手に取れない状態）にも注意する必要があります。

精度の高いチェックを行うためには、それなりの練習が必要ですので、ぜひ研修イベントにお越しください。

## 4.4. エネルギー反響チェック

エネルギー的に『イメージ』や『キーワード』を相手に投げかけて、『跳ね返ってきたエネルギー』を捉えることにより、ブロックの有無を探ることが出来ます。

（『自分の筋反射』や『エネルギー的な感覚』にフォーカスする感覚。体感覚タイプの人向き）

・・・これに関しても、文章では非常に説明しづらいので、詳しく知りたい方はイベントにお越しください m(\_)\_m

## 5. ワークショップ開催時、リーダーのやること（参考例）

ワークショップの開催時には、例えば以下のことを提供すると良いでしょう。

- ブロック解除についての講義（最低限の知識＋イベントならではの部分）

ホワイトボード等を使って、テキストとは別角度でブロック解除に関する講義を行う。  
特に、以下の項目について重点的に伝えると良い。

- 『ブロックの定義』
- 『ブロックの構造』
- 『ブロックの性質』
- 『ブロックは、敵ではなく、味方』
- 『好転反応について』
- 『よくあるブロックの例』
- 『自分の体験談』

- テキストの読み合せ

テキストを声に出して読む（声に出し、自分の耳で聞くことで、意識に情報が浸透しやすくなる）。

- ブロック解除のサポート

「(トラウマや信念の) さらにその奥にあるのは？」と、追いかけるのを手伝う。  
ブロックから目をそらそうとしたときに、目を向けさせる。  
ブロック解除から逃げようとしたときに、引き止める。

- 『物質変換ワーク』×3セット

物質変換ワークは、同じテーマにおいて間を空けずに複数回行うと効果的だが、  
独習の際にここまでやる人は非常に少ない。

- 過去世の救出ワーク

チャネリングの技術を用いて、相手のガイドとの橋渡し役を行い、過去生救出ワークを提供する。  
テキストに載っていないワークなので、「イベントに来た甲斐がある」と感じてもらいやすい。

- ブロックが外れたかどうかのチェック

キネシオロジーやエネルギー反響チェック、感情の揺さぶりにより、ブロックが外れたかどうかを探る。  
様々な角度から「炙り出し」を行い、本当にブロックが外れているかどうかチェックする。

- 「波動の高い水」をたくさん飲ませる

エネルギーワーク・エネルギーカードを用いて、『浄化のエネルギー』を入れた水を飲んでもらう。  
お土産として、エネルギー水をペットボトルに入れて持たせるのもアリ。

### 6. 過去生救出ワークの修得について

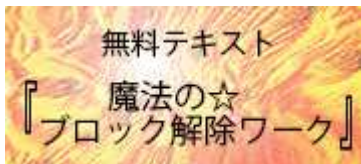
『過去生救出ワーク』を修得希望の方は、『チャネリングコース』の4ヶ月目を受講するか、対面の『ブロック解除ワーク主催者指導イベント』にご参加ください。

なお、過去生救出ワークには、ガイドとの密な信頼関係が必要となるため、1ヶ月目・2ヶ月目・3ヶ月目の受講を飛ばして、いきなり4ヶ月目から受講することはできません。予めご了承ください。

### 7. テキストの配布および引用について

以下の URL よりテキストをダウンロード・印刷し、自由に配布して構いません。

<http://ms.elty.net/liberation/>



テキストの一部内容を引用し、オリジナルのテキストを創るのも OK です。

その際には、(必須ではありませんが) 参考文献としてサイトの URL を記載していただければと思います。

### 8. その他、諸条件について

リーダーは、テキストを用いたワークショップ・個人セッションを、自由に開催していただいて構いません。参加費等も自由に設定していただけます。

また、それらの開催に当たって、魔法使い A-Ki☆。に対するロイヤリティ等を支払う必要はありません。

ただし、各イベント・セッションにおいて、「魔法使い A-Ki☆。の公認であるかのような表現」は避けてください。

その他、不明点がある場合、サイトの『お問い合わせフォーム』よりご連絡ください！

<http://ms.elty.net/contact/>